

令和3年度の主な事業

◎ 新 型コロナウイルス感染症への対応		
●(八女市独自施策分)新型コロナウイルス感染症検査助成事業 他37事業		6億8,547 万円
●(国県補助事業分)住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金 他8事業		24億914 万円
◎ 賑 わいと利便性のある基盤づくり		
●若年世帯家賃等支援補助事業		6,366 万円
●乗合タクシー運行事業		1億338 万円
●道路新設改良事業		10億4,922 万円
●上水道整備事業(豊岡地区水道整備)		10億6,096 万円
●地域公共交通調査事業		1,752 万円
◎ 強 靱で安全な環境づくり		
●避難所給電用電気自動車整備事業……①		1,880 万円
●河川監視システム整備事業……②		352 万円
●河川改良事業		2億3,841 万円
◎ 美 しいふるさとづくり		
●浄化槽設置整備事業		1億7,148 万円
●住宅用太陽光発電システム等設置費補助事業		285 万円
◎ 活 力ある産業づくり		
●ほたと石橋の館・ホテルと石橋の里公園整備事業……③		1,718 万円
●森林・山村多面的機能発揮対策事業……④		43 万円
●新規就農促進支援事業		7,292 万円
●雇用・就労促進事業……⑤		50 万円
●健康増進施設(べんがら村)整備事業……⑥ ※繰越事業含む		15億72 万円
◎ 安 心して暮らせるしくみづくり		
●結婚新生活支援事業……⑦		326 万円
●子どもの居場所づくり活動基盤整備事業……⑧		700 万円
●乳幼児健康診査(新生児聴覚検査)事業……⑨		96 万円
●ゴミ出し支援事業……⑩		302 万円
●地域活動支援センター事業		1,163 万円
●高齢者の保健事業と介護予防の一体化事業……⑪		2,001 万円
◎ ふ るさとを愛する人づくり		
●ブックセカンド事業……⑫		73 万円
●体育施設予約管理システム導入事業……⑬		278 万円
●やめっこ夢祝金事業		2,831 万円
●入学祝金支給事業		4,123 万円
●市奨学金給付事業		1,382 万円
●路線バス通学定期補助事業		761 万円
◎ 人 権を尊重した共生のまちづくり		
●ふるさと絆便事業……⑭		251 万円
●いきいき行政区運営交付金事業		4,139 万円
◎ 未 来につなぐ協働のまちづくり		
●先端技術活用調査研究事業……⑮		199 万円
●個人番号カード臨時交付窓口設置事業……⑯		917 万円

※①～⑯はR3年度新規・拡充事業のため詳細な事業内容については次頁に記載しております。

	事業名	事業内容
①	避難所給電用電気自動車整備事業	電気自動車を黒木、矢部、星野支所に配備し、可搬型外部給電器および電気自動車給電設備(200Vコンセント)を本庁、各支所6か所に配備しました。
②	河川監視システム整備事業	河川監視カメラおよび水位計を設置し、河川の状況のリアルタイムによる確認と河川の状況や水位等の情報を広く発信することができ、防災情報の一つとして利用することができます。
③	ほたと石橋の館・ホテルと石橋の里公園整備事業	ホテルと石橋の里公園の拡張および駐車場整備に関する測量設計とほたと石橋の館の施設改修基本設計を実施しました。
④	森林・山村多面的機能発揮対策事業	集落周辺の里山林のような森林の保全については、地域住民等による活動組織4団体が実施した侵入竹除去等の整備活動により、里山林6.6haの保全・整備を図ることが出来ました。
⑤	雇用・就労促進事業	地元企業とUIターン希望者や地元人材とのマッチングのため、八女市オンライン合同会社説明会を実施し、雇用機会の確保に努めることができた。
⑥	健康増進施設(べんがら村)整備事業	施設の老朽化や年々多様化する顧客ニーズに対応するため、温泉、レストラン、カフェ、多目的ホールなどを有し、魅力あるべんがら村として令和4年4月にリニューアルオープンすることが出来ました。
⑦	結婚新生活支援事業	夫婦共に婚姻日における年齢が39歳以下かつ世帯所得400万円未満の新婚世帯に対して、住居費及び引越し費用の一部を補助し、20代を中心に経済的な支援を行いました。
⑧	子どもの居場所づくり活動基盤整備事業	子どもの貧困対策に加えて、幅広い担い手による地域の子どもの居場所づくりを行うため、社会福祉協議会のまるごとサポーター(市内6か所6名)を子どもたちと「支援」を結びつけるコーディネーターとして配置し、こども食堂等の活動団体への支援・連携を行うことが出来ました。
⑨	乳幼児健康診査(新生児聴覚検査)事業	疾病の早期発見、早期治療に努め、育児不安の軽減を図ることが出来ました。また、新生児聴覚検査費用の一部を助成し、先天性難聴の早期発見に努めました。
⑩	ゴミ出し支援事業	高齢者や障がい者等で、ごみの処分が困難な状況にある世帯を対象に社会福祉協議会ボランティアセンターに登録いただいた生活支援ボランティアを派遣し、見守りを兼ねた可燃ごみ出しの支援を行うことが出来ました。
⑪	高齢者の保健事業と介護予防の一体化事業	後期高齢者の健診の受診勧奨と、健診後に高齢者の心身の特性に応じた保健指導を行いました。また、健診未受診者には訪問や電話での勧奨や健康状態の把握を行い、重症化予防が必要な場合は、かかりつけ医療機関と連携を行い指導等を行いました。
⑫	ブックセカンド事業	「ブックスタート事業」として、4か月乳幼児健診の際、読み聞かせと絵本のプレゼントを行っている事業に加えて新たに3歳児健診時に絵本を贈ることで、子どもの読書習慣形成・定着化に努めました。
⑬	体育館施設予約管理システム導入事業	WEB予約(ネット申請)ができる体育施設予約管理システムを導入し、施設利用手続きの利便性向上と感染拡大防止を図ることが出来た。
⑭	ふるさと絆便事業	「ふるさと」に思いを寄せる人材が継続的に関わりを持つネットワークの形成と、地域へ貢献する人材との関わりを深めるため、事業PRを実施し、「ふるさと絆便」への登録を促進しました。また、市外在住の若者が気軽に登録できるようネット申請を可能にしました。
⑮	先端技術活用調査研究事業	庁内のプロジェクトチームを編成し、調査および会議を行い、地域課題の洗い出しと先端技術を活用した解決に向けた調査を行いました。また、矢部地区での実証を行うことを前提に、地域づくり協議会を対象としたワークショップを行い住民目線による課題の聞き取りを行いました。
⑯	個人番号カード臨時交付窓口設置事業	マイナンバーカード交付特設会場の設置により、庁舎窓口の混雑を緩和し、利用者の待ち時間の改善を図るなど、円滑な交付業務を実施することが出来ました。